

OHTAWARA SHINKIN BANK

DISCLOSURE 2013.9

ディスクロージャー誌

お客さまひとりひとりに、いつも心のこもったサービスを。

地元の皆さまとともに
大田原信用金庫

■金庫概要 (平成25年9月30日現在)

名 称	大田原信用金庫
設 立	昭和3年2月
役 職 員 数	142名
本 店 所 在 地	大田原市中央1丁目10番5号
出 資 金	465百万円
事 業 所 数	9店舗

■経営理念

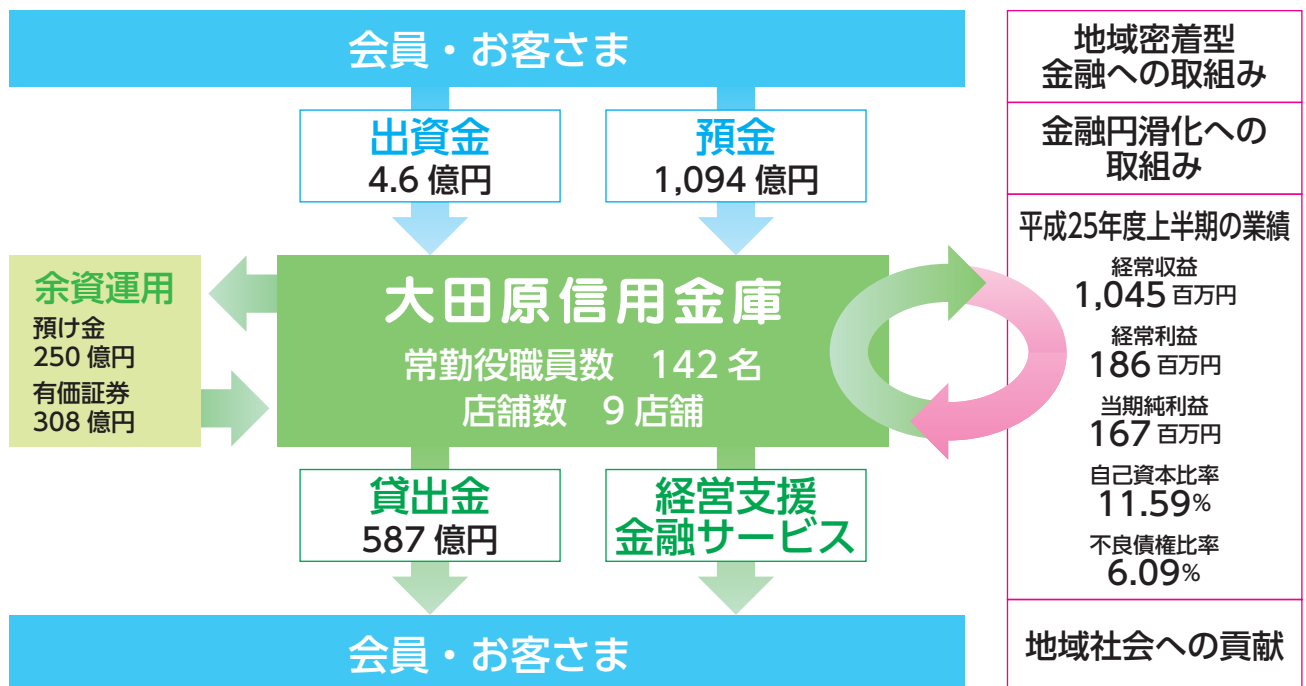
1. 地域社会繁栄の奉仕と共に信頼と協力に応える
2. 中小企業の健全な育成発展に貢献する
3. 公共性、信頼性、収益性を基本に健全経営に努力する

■金融円滑化の体制

地域の中小企業等の適切な資金繰り支援や経営相談・経営改善等に真摯に取り組むことは、信用金庫に課せられた重要な社会的使命であります。当金庫はそうした取り組みを徹底するため、「地域金融円滑化のための基本方針」を定めるとともに、本方針を適切に実践するために必要な体制を整備しております。

■大田原信用金庫と地域社会とのかかわり

だいしんは 相互扶助型の金融機関	地域の資金を地域に還流	地域経済の 持続的発展に向けて
当金庫は栃木県北部地域を主な事業区域とし、会員(地域の中小企業や住民)がお互いに助け合い、ともに発展していくことを理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。	地域のお客さまからお預かりした大切な預金等は、資金を必要とされる地域のお客さまにご融資を行い、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。	地域との強い絆やネットワークを形成し地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



■地域とのあゆみ

月	日	出来事
5 月	13日	カードローン「きゃつする」の商品改定 (利用限度額を5百万円に引上げ)
6 月	2日	ロータリークラブ主催の 善勝川清掃活動に参加
	3日	定期預金「サマーキャンペーン」の実施
	13日	経営報告会(二区)
6 月	14日	経営報告会(三区)
	18日	経営報告会(一区)
	27日	第85期通常総代会

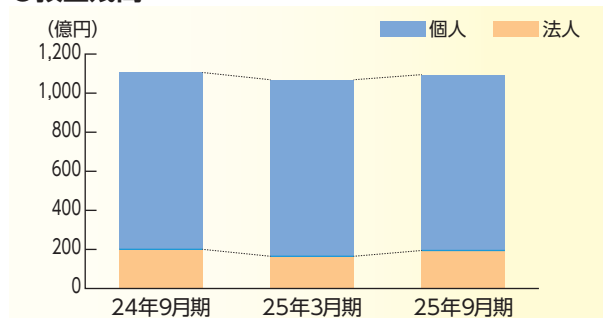
月	日	出来事
	5日	美原だいしん会総会
	19日	「信樹会」総会
7 月	27日	「西那須野ふれあいまつり」参加
	28日	児童向け夏休み学習教室を開催 (オリジナルマグカップづくり)
8 月	1日	東那須野だいしん会総会
	2日	「与一まつり」参加
9 月	6日	「だいしん災害復旧ローン」の取扱開始
	12日	西那須野だいしん会総会

■平成25年度上半期の業績

預金

預金残高は上半期に2,629百万円増加し109,473百万円となりました。これからも地域のお客さまへの金融サービスの提供や資産形成のお手伝いをさせていただくため、商品・サービスや各種機能をより一層、充実させてまいります。

●預金残高



●人格別預金残高

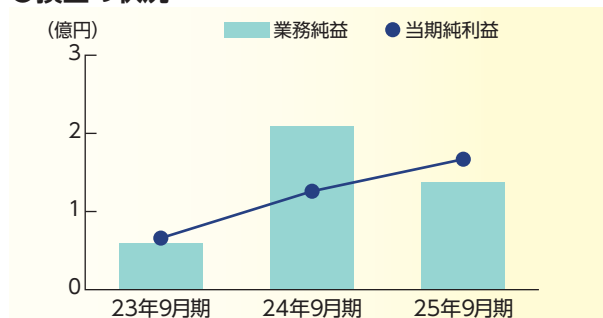
(単位：百万円)

項目	24年9月期	25年3月期 (B)	25年9月期 (A)	増減 (A-B)
預金残高合計	110,572	106,844	109,473	2,629
うち個人	90,518	90,356	90,014	△342
うち法人	20,053	16,487	19,459	2,972

収益

- 業務純益…業務純益は前年同期比72百万円減少し137百万円となりましたが、これは前年度に外国証券の一時的な償還益(104百万円)があったことによるものです。業務純益の大部分を占める資金利益は、前年同期比42百万円増加しており、実質的には前年同期を上回る利益計上となりました。
- 不良債権処理関係損益…取引先企業の経営改善支援に積極的に取組んだ結果、貸倒引当金の戻入益が発生しました。その結果、不良債権関係損益は前年同期比66百万円改善し39百万円の利益計上となりました。
- 当期純利益…有価証券関係損益の減少により業務純益は減少しましたが、貸倒引当金の戻入益の発生が大きく影響し、当期純利益は前年同期比41百万円増加し167百万円となりました。

●損益の状況



(単位：百万円)

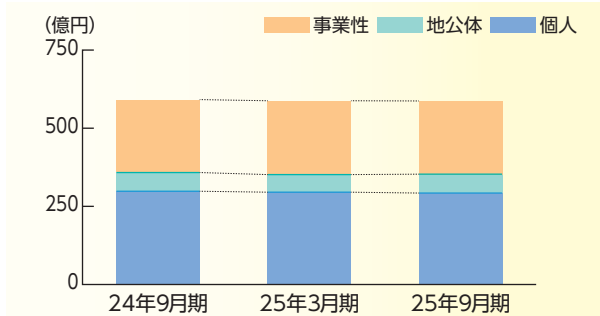
項目	24年9月期(B)	25年9月期(A)	増減(A-B)
業務粗利益(a)	895	844	△51
資金利益	800	842	42
役務取引等利益	△17	△17	0
その他業務利益	113	19	△94
うち債券関係損益(損失を△表示)	113	18	△95
一般貸倒引当金繰入額(b)	△11	—	11
経費(c)	697	707	10
業務純益(a-b-c)	209	137	△72
臨時損益(損失を△表示)	△81	49	130
経常利益	127	186	59
特別損益(損失を△表示)	0	△3	△3
当期純利益	126	167	41
不良債権処理関係損益(損失を△表示)	△27	39	66
有価証券関係損益(損失を△表示)	75	31	△44

貸出金

貸出金残高は上半期に67百万円減少し58,720百万円となりました。これは、住宅ローンの取扱いが減少したことに加え、事業性貸出に係る資金需要の低迷などによるものです。

これからも地域で資金を必要とされるお客さまに適切なお融資をさせていただき、事業や生活の繁栄のお手伝いに努めてまいります。

●貸出金残高



●業種別貸出金残高

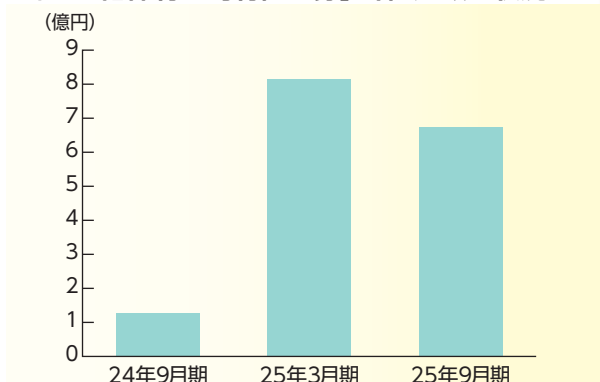
項目	24年9月期	25年3月期 (B)	25年9月期 (A)	増減 (A-B)
貸出金残高合計	59,159	58,787	58,720	△67
うち事業性	23,341	23,621	23,418	△203
うち地公体	5,984	5,629	6,045	416
うち個人	29,834	29,535	29,256	△279

有価証券の時価情報

預金の支払準備や余裕資金の運用として、預け金のほか有価証券等を保有しております。有価証券のうち「その他保有目的有価証券」の評価差額は、675百万円の益となりました。これは、円安や株高の進行に加えて、リスクの大きい有価証券を前倒しで処理してきた結果によるものです。

今後も引続き安全性や流動性を重視し、株価や為替の変動に大きな影響を受けにくい有価証券の運用に努め、収益体質の強化を図ってまいります。

●「その他保有目的有価証券」評価差額の状況



●有価証券の時価(平成25年9月期) 【満期保有目的の債券で時価のあるもの】

区分	貸借対照表計上額	時価	評価差額
外国証券	800	820	20

【時価のない有価証券の貸借対照表計上額】

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	16百万円

【その他保有目的有価証券で時価のあるもの】

区分	取得価格 (償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額
株式	387	516	129
債券	26,369	26,925	555
国債	5,122	5,328	205
地方債	4,548	4,662	113
社債	16,698	16,935	236
外国証券	211	200	△10
その他(投信等)	2,379	2,380	1
合計	29,347	30,023	675

■健全性

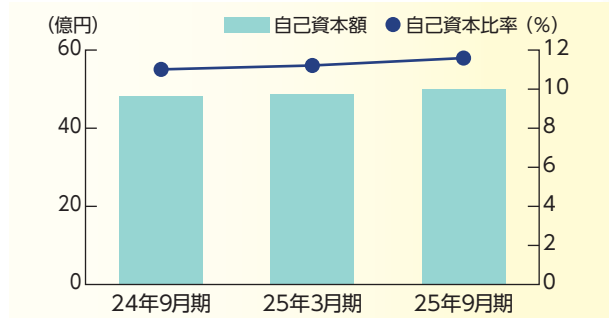
自己資本の状況

財務内容の健全性を示す代表的な指標である自己資本比率は、平成25年3月期から0.38ポイント上昇し11.59%となりました。主な理由としましては、当期純利益を167百万円計上したことで、自己資本額が増加したことなどによるものです。

当金庫の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る水準にあり、「安心してお取引いただける信用金庫」であると考えております。今後も安定した利益確保により、自己資本の充実に努めてまいります。

なお、中核的自己資本(Tier1)比率は11.54%となり、平成25年3月期から0.45ポイント上昇しております。

●自己資本の状況



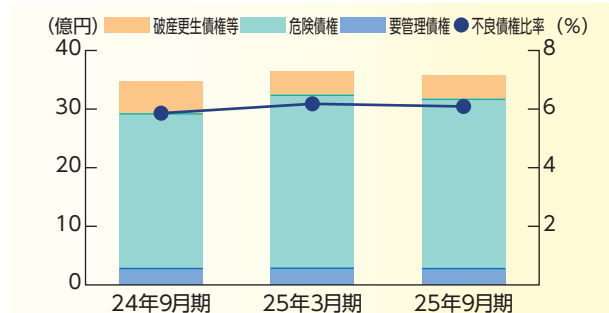
(単位: 百万円)

項目	24年9月期	25年3月期(B)	25年9月期(A)	増減(A-B)
自己資本額(a) = (b+c-d)	4,825	4,881	5,016	135
Tier 1 (b)	4,779	4,830	4,995	165
Tier 2 (c)	45	51	20	△31
控除項目(d)	—	—	—	—
リスク・アセット等計(e)	43,375	43,530	43,256	△274
オン・バランス項目	40,118	40,386	40,108	△278
オフ・バランス取引等項目	77	71	76	5
オペレーショナルリスク・アセット	3,180	3,071	3,071	0
Tier 1 比率 (b / e)	11.01%	11.09%	11.54%	0.45pt
自己資本比率 (a / e)	11.12%	11.21%	11.59%	0.38pt

不良債権の状況

金融再生法ベースの不良債権比率は6.09%となり、平成25年3月期から0.09ポイント低下しました。これは、景気の低迷が長引いているなかにおいて、取引先企業に対する経営支援活動を積極的に行ってきたことによるものです。また、不良債権に対する保全率は88.93%となっており、不良債権残高の9割近くが担保・保証や貸倒引当金によってカバーされております。今後とも、お取引先の経営改善支援や事業再生支援等を通して不良債権の発生防止に取り組んでまいります。

●不良債権の状況



(単位: 百万円)

項目	24年9月期	25年3月期(B)	25年9月期(A)	増減(A-B)
金融再生法上の不良債権(a)	3,479	3,648	3,587	△61
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	559	411	420	9
危険債権	2,638	2,950	2,887	△63
要管理債権	280	285	279	△6
保全額(b)	2,921	3,041	3,190	149
貸倒引当金(c)	308	344	341	△3
担保・保証等(d)	2,613	2,697	2,849	152
保全率(b / a)	83.96%	83.36%	88.93%	5.57pt
引当率 [c / (a - d)]	35.57%	36.17%	46.20%	10.03pt
正常債権(e)	55,849	55,293	55,268	△25
与信合計(a + e)	59,328	58,941	58,855	△86
不良債権比率[a / (a + e)]	5.86%	6.18%	6.09%	△0.09pt

◆店舗のご案内

No.	店舗名	郵便番号	所在地	電話番号
①	本店	〒324-0056	大田原市中央1丁目10番5号	0287-22-3130
②	黒磯支店	〒325-0061	那須塩原市末広町53番地107	0287-62-0678
③	西那須野支店	〒329-2727	那須塩原市永田町5番1号	0287-36-1255
④	黒田原支店	〒329-3222	那須郡那須町大字寺子丙2番地73	0287-72-1131
⑤	野崎支店	〒324-0035	大田原市薄葉2287番地9	0287-29-1221
⑥	東那須野支店	〒329-3153	那須塩原市大原間378番地1	0287-65-2031
⑦	美原支店	〒324-0047	大田原市美原1丁目6番14号	0287-22-3800
⑧	南支店	〒324-0053	大田原市元町1丁目7番10号	0287-23-7650
⑨	矢板支店	〒329-2142	矢板市木幡1369番地9	0287-43-4646

◆店外CD設置場所

栃木県信用金庫協会県庁内出張所(栃木県県庁舎1階)

◆とちまるネット

栃木県内に本店を置く7金融機関(当金庫・栃木信用金庫・佐野信用金庫・烏山信用金庫・足利銀行・真岡信用組合・那須信用組合)は、「とちまるネット」によりATM業務提携を行っています。

平日8時45分から18時まで、提携金融機関のお客さまが、提携金融機関のATMを利用して現金のお引き出しを行う場合、「他行ATM手数料」が無料となります。

※時間外手数料については、各金融機関所定の手数料がかかります。

※お振込みにおける「他行ATM手数料」は、提携の対象外です。

※ATMの設置場所や稼働時間等の詳細につきましては、各金融機関のホームページをご覧ください。

大田原信用金庫

〒324-0056 栃木県大田原市中央1丁目10番5号

TEL:0287-24-2266 FAX:0287-22-5102

<http://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>